

23人と「交際」 栄光の中学時代

大部屋出身の俳優 土平ドンペイさん(52)——草津市②

はい上がる人

わたしの歩跡

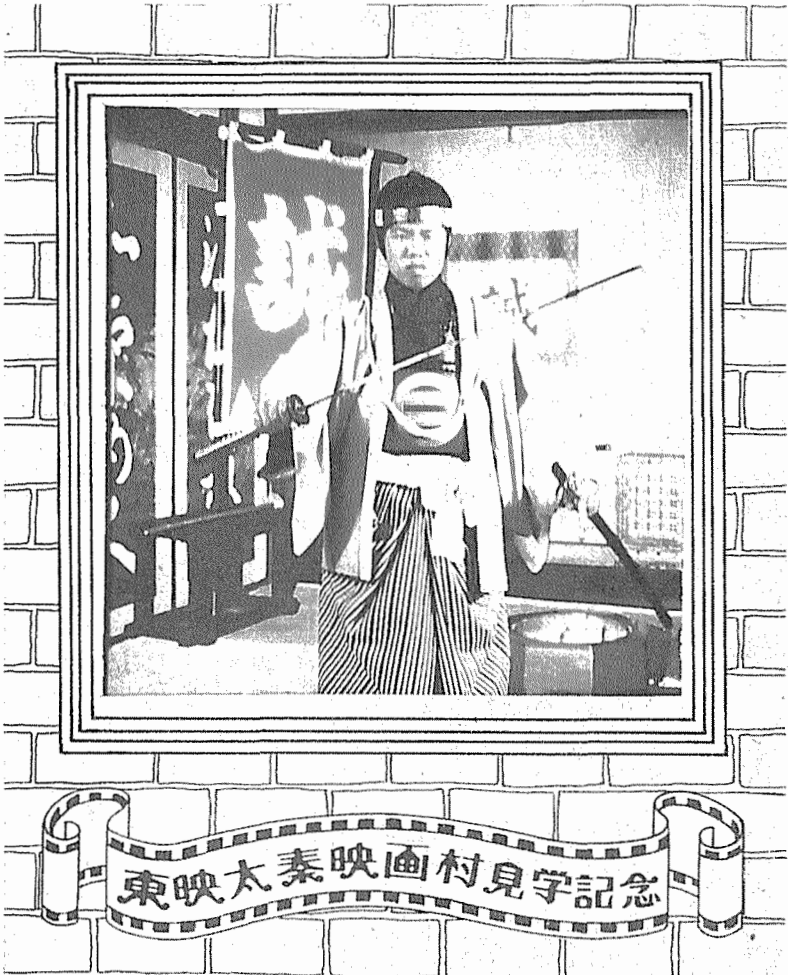
て、野球をやらせたかったんでしようね。4年生ぐらいで、地域のソフトボールチームに入り、夢中になりました。

1966年7月、大阪府の市立豊中病院で生まれました。家は毎日放送近くの大阪市北区でした。父は義行さん(76)は土木や建築の仕事をしていて、母は敏子さん(故人)はバスガイドとして阪神や巨人の選手を竹園旅館(当時)から阪神甲子園球場まで送ったそうです。一人っ子なんで、「かわいい、かわい」で育てられました。

▲小2で野球を始め、その頃、大阪府箕面市に引っ越した。最初は野球が好きじゃなかったんですけど、米大リーグのメッツが甲子園に来て、父に連れられた見に行っただけで、すっかりメッツが大好きになりました。うまかったのもあって、主将になったんです。スポーツ屋に行っただけで、多記録を持つ阪急の名選手が1番で盗塁を決めたりとか、すごい盛り上がった。帰りにメッツのTシャツを買ってもらった。公立の正月とお

▲79年に入学した市立箕面第四中学校には野球部がなく、強豪のソフトボール部へ入った。2年春に野球部になったんですね。部員が100人以上いて、めっちゃくちゃ鍛えられて。うまかったのもあって、主将になったんです。スポーツ屋に行っただけで、多記録を持つ阪急の名選手が1番で盗塁を決めたりとか、すごい盛り上がった。帰りにメッツのTシャツを買ってもらった。公立の正月とお

小6のとき、母と訪ねた京都の東映太秦映画村での記念撮影。十数年後にここで撮影される側になるとは夢にも思っていなかった
——いずれも本人提供



主将で投手に生徒会長

もてもてだった中学時代の修学旅行。群馬県の草津温泉などを訪ねた



益以外は練習でした。

▲新チームで秋に初めて出場した箕面市と池田市の大会に続き、大阪府の豊能地区大会も優勝した。投手兼一塁手で、足が速くて左打ちに変え、3番や5番の中軸を任せられた。

中学校が僕の一番栄光ある時代なんです。1学年9〜10クラスあり、生徒2000人弱のマンモス校でした。小学校5、6年のときも児童会長でしたが、社交的でクラスの人気者だったので、「立候補しよ」って言われて、1年後期から3年前期まで4期連続で生徒会長でした。

野球部主将で投手で生徒会長でしょ。もうもてない訳ないという材料がそろってて。練習してたら、フェンス越しに女の子がぎょうさん見ていました。「一緒に帰って。校門で待っているから」って言われて一緒に帰る。それが中学生の淡い恋なんですよね。いろんな人と帰るから、女子の怖いリーダー格に呼び出され「あんなあ、どう考えてんの」ってすまされて。後で何人と付き合ったか数えてみたら23人。手をつないだこともなく、全然交際につながらなかった。

▲中3の春も豊能地区大会で優勝。夏は予選を勝ち抜き、日生球場(既に閉鎖)などでの大阪府の中央大会に出場した。写真パネルを見ると、一個下の桑田(真澄)さん(PL学園)で甲子園優勝2回、巨人などで活躍した投手も出ていました。1回戦は大東市の代表に0-0と勝負がつかず、抽選勝ちして16強まで残ったんです。そうなる、勝手にいろんな高校から声がかかります。地元大阪も3校誘ってくださったのですが、大阪は7回ほど勝たないと甲子園には出られない。北は山形から南は宮崎の高校まで。その一つが比叡山高校(大津市)でした。

【エリア編集委員・大澤重人】
——つづく、水曜掲載

FBに激励「メ

ドンペイさんが自身のフェイスブックで発信しています。連載を読んだ方から「心が熱くなりました」「努力、決断、内助の功があった今のドンペイさんだね」などのコメントが寄せられています。